

<b>授業科目名</b>	成人看護学援助論（慢性期・回復期・終末期）(2300213)		
<b>時間割名</b>	成人看護学援助論（慢性期・回復期・終末(33207)		
<b>時間割担当</b>	小林由里		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	水・3		

### 授業の目標・概要

生涯疾患とともに生活することを余儀なくされている対象者とその家族の看護、および終末期にある患者と家族の看護について学習する。慢性期疾患患者の看護においては、終生自己管理を必要としなければならない患者の心理状況を理解するとともに、具体的な看護方法について学ぶ。演習については講師・助教も担当する。

### 学習の到達目標

- 1．主な慢性疾患の特徴と症状や治療が生活に与える影響について理解する。
- 2．慢性的な健康障害をもつ対象とその家族が病気と付き合いながらセルフマネジメントできるための看護を理解する。
- 3．終末期にある対象とその家族の特徴を理解し、症状・治療にともなう苦痛に対する緩和ケアを理解する。

### 授業方法・形式

講義・演習

## 授業計画

### 第1回

4/11 慢性疾患患者の特徴

- ・慢性疾患をもつ成人期の対象の特徴を学ぶ

### 第2回

4/11 脳神経系障害をもつ対象の看護

- ・脳梗塞患者のアセスメントおよび症状の回復、再発や合併症を予防し、社会復帰のための看護を学ぶ。

### 第3回

4/18

消化器系障害をもつ対象の看護

- ・肝炎、肝硬変患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第4回

4/18 運動機能障害をもつ対象の看護

- ・慢性関節リウマチ患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第5回

4/25 膠原病をもつ対象の看護

- ・全身性エリテマトーデス患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第6回

4/25 内分泌・代謝系障害をもつ対象の看護

- ・糖尿病患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第7回

5/2 呼吸機能障害をもつ対象の看護

- ・呼吸器機能障害（COPD）患者のアセスメントやセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

看護過程の展開：情報の収集とアセスメント、関連図

### 第8回

5/2 循環器系障害をもつ対象の看護

- ・心不全患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第9回

5/23 1組 呼吸機能障害をもつ対象の看護

- ・呼吸器機能障害（COPD）患者の症状の観察、アセスメント、援助の実際を学ぶ。

### 第9回

5/23 2組 呼吸機能障害をもつ対象の看護

- ・呼吸器機能障害（COPD）患者の症状の観察、アセスメント、援助の実際を学ぶ。

### 第10回

5/30 呼吸機能障害をもつ対象の看護

- ・呼吸器機能障害（COPD）患者の援助の評価について学ぶ。 看護過程の展開：看護計画、評価

### 第11回

5/30 腎障害をもつ対象の看護

- ・慢性腎臓病患者のアセスメントおよびセルフマネジメントのための看護を学ぶ。

### 第12回

6/6 血液・造血器系障害をもつ対象の看護

- ・白血病患者のアセスメントおよび症状・治療（化学療法）にともなう苦痛緩和の看護を学ぶ。

### 第13回

6/6 終末期にある患者の看護

- ・化学療法を受ける患者の看護

### 第14回

6/13 終末期にある患者の看護

- ・放射線療法を受ける患者の看護

### 第15回

6/13 終末期にある患者の看護

## 成績評価の基準

筆記試験

事前課題への取り組み状況・レポート、授業・グループワーク参加度

## 準備学習・復習及び授業時間外の課題

成人看護学概論の履修内容は復習しておいてください。

各回に学習する系統別疾患について、解剖生理学、病態学、薬理学の講義内容を学習して授業に臨んで下さい。

事前課題はそれぞれの講義内で提示します。

## 履修上のアドバイス及び留意点

講義内でお伝えします。

## 教材・教科書

医学書院、系統看護学講座

成人看護学総論

成人看護学[2]呼吸器、[3]循環器、[4]血液・造血器、[5]消化器、[6]内分泌・代謝、[7]脳・神経、[8]腎・泌尿器、[10]運動器、[11]アレルギー 膠原病 感染症

## 参考書

参考書：適宜紹介します